

# まんからの遊び方 1/2ページ (マンカラ カラハ...世界標準です)

ボードの名称  
●1~6 と8~13 はポケット  
●7、14 はゴール

石の色は関係  
ありません

1. まず、各ポケットに4個ずつ石を置きます。※石の色は関係ありません。

2. 1~6 がAさんの陣地。8~13 がBさんの陣地。※ボードには番号は書いてありません。

3. ジャンケンをして先攻、後攻を決めます。

4. 先攻がAさんとします。Aさんの陣地1~6 のどれかのポケットの石をすべて取り、右回りに隣から1個ずつ石を置いていきます。

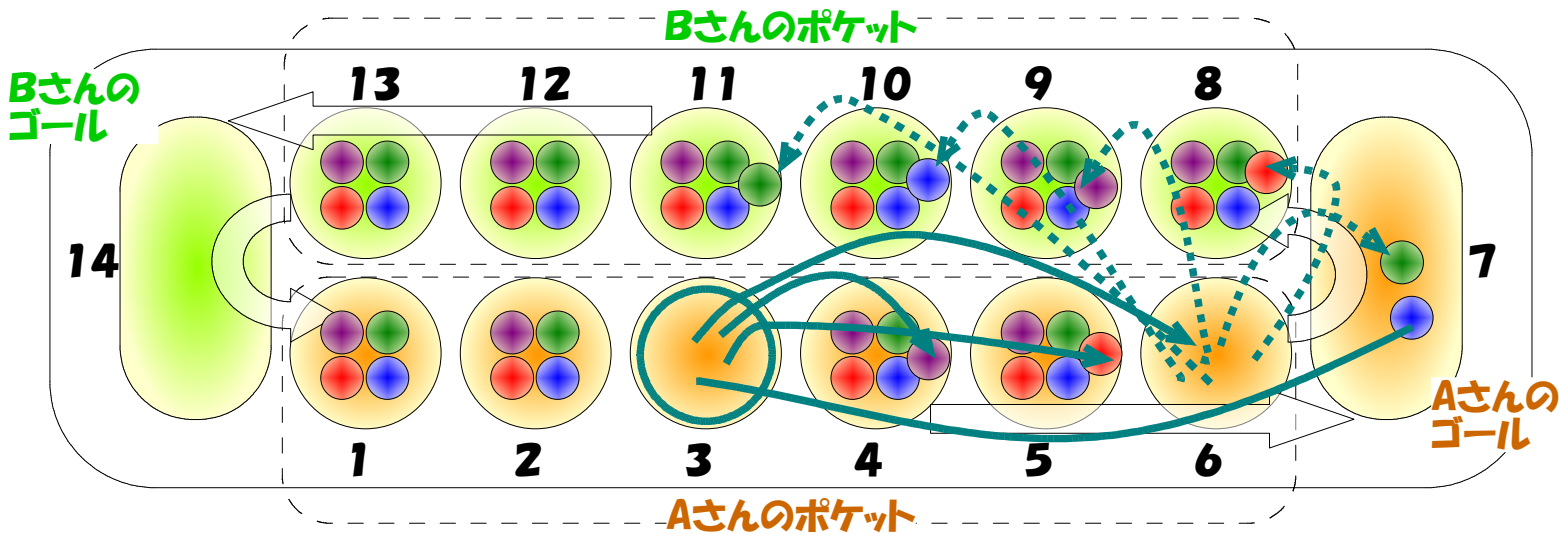
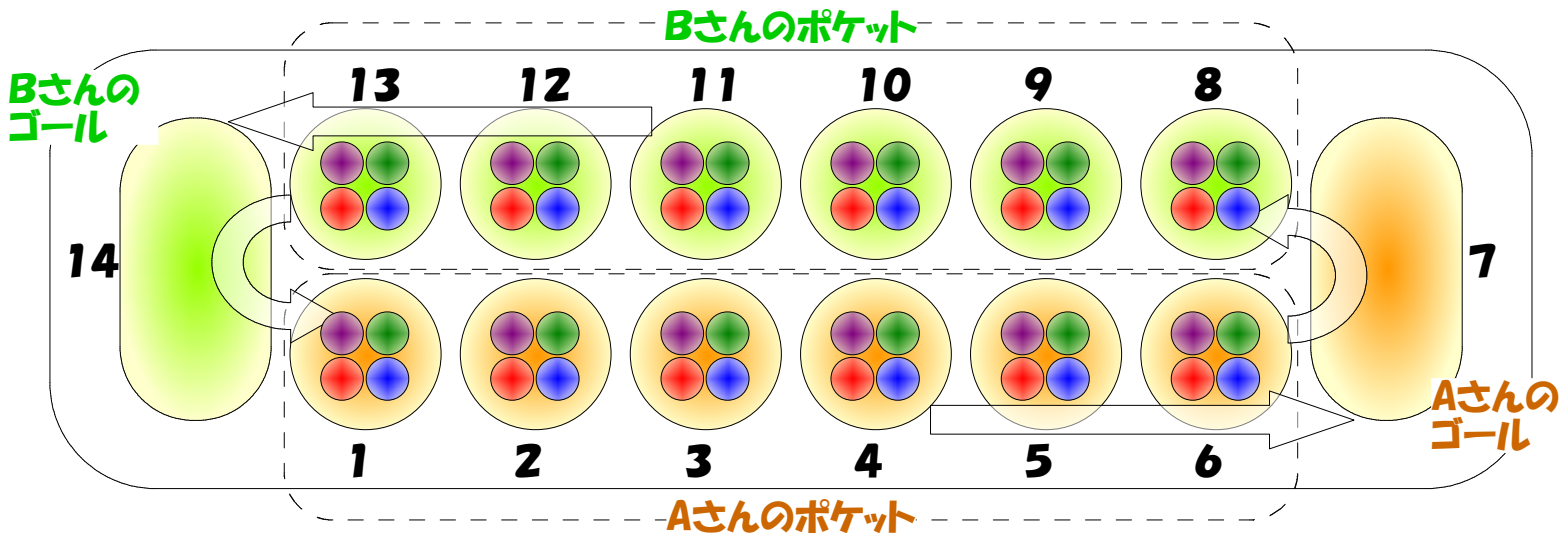
「マンカラ」の共通ルール

- 相手ゴールに石は入れません。
- 最後の1個の石が自分のゴールに入ったら再度自分の番となり、続けてできます。
- 最後の石がゴール以外のポケットに入ったら相手の番になります。

※例えば3 のポケットを選んだ場合... 4、5、6、7 に石を一個ずつ置いていきます。

最後の石が7(ゴール)に入ったので、もう一回ポケットを選んで石を移動させることができます。

次に、6 ポケットを選んだ場合、...7、8、9、10、11 に移動します(相手の陣地へ移動します)



# まんからの遊び方 2/2ページ (マンカラ カラハ...世界標準です)

ボードの名称  
●1~6 と8~13 はポケット  
●7、14 はゴール

●●●● 石の色は関係  
ありません

5. Aさん、Bさんが交互にプレーを繰り返します。

「マンカラ カラハ」の特別ルール

●相取りのルール

このルールが「マンカラカラハ」の特徴です。自分のポケットで、石が一つも入っていないところで、石を配り終わった場合、ちょうど対応する相手方のポケットの石すべてと、自分が配り終わった最後の石を自分のゴールに入れてしまうことができます。相手のポケットに石が無ければ自分の石もゴールには入れられません。

★例★

Aさんの番で右の様な場面から、Aさんが「1」のポケットの石を動かした時、「5」の何も無いポケットで最後の石となります。その場合、その上のポケットのBさんの「9」の石7個と「5」に入れた石1つを相取りして自分のゴールに入れられます。次は相手の番になります。(続けてはできません)

6. ポケットの石が全て無くなったとき、ゴールにある石の数が多くの方が勝ちとなります。

「マンカラカラハ」の終わり方

●自分のポケットに石が一つもなくなってしまえば、自分の番が来ても選択できるポケットはありません。この場合、相手のポケットに残った石はすべて相手ゴールに入れ、ゲームは終了します。

★例★

Aさんの番で右の様な場面で、Aさんのポケットにはもう石が無いが、ゴールに23個も石があって勝ったように見えますが、終わりのルールにより、Bさんのポケットに残っている石8個は全てBさんのゴールに移されBさんは25個の石となり勝ちとなります。

